

令和6年6月20日 災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修 説明資料

# 災害時の多言語支援に係る 情報ツールについて

## 一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR) 多文化共生部

(一財) 自治体国際化協会多文化共生部 〒102-0083

東京都千代田区麹町1-7相互半蔵門ビル6階

**5**:03-5213-1725

E-mail: tabunka@clair.or.jp

https://www.clair.or.jp/j/multiculture/



# 自治体国際化協会(CLAIR(クレア))とは



「自治体の国際化推進を支援すること等を目的とする自治体の共同組織」(1988年7月1日設立)

※「クレア(CLAIR)」は、自治体国際化協会の英語名「Council of Local Authorities for International Relations」の頭文字をとった当協会の略称

全国 4 7 都道府県・2 0 政令指定都市にクレア支部 職員募集https://www.clair.or.jp/j/clair/shokuinboshu.html

本 部









## 7つの海外事務所

ニューヨーク ロンドン パリ シンガポール ソウル シドニー 北京

アメリカ合衆国、カ 原則として連合王 原則としてフラン ス、原則としてシンガ 原則として大韓民 原則としてオースト 原則として中華 ナダ、ジャマイカ及び国、アイルランド、ドベルギー、ルクセンブポール等ASEA 国 ラリア及びニュージー 人民共和国 トリニダード・トバゴ イツ、オーストリア、 ルグ、スイス、イタリ N10か国、インド ランド

オランダ、及び北欧 ア、スペイン、ポルト 及びスリランカ 共和国 ガル及びモナコ 4 か国

・海外の地方行財政制度、地域活性化のための方策に関する情報収集・提供

・国内の地方行財政制度、地域情報の発信、自治体の海外での国際化推進のための活動支援・人的交流支援



# 一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR) 令和6年度多文化共生部の取組について

クレア中期経営計画 (2022年度~2026年度)

情報提供 災害対応支援 地域の多文化共生施策の着実な実施

2

多文化共生の 政策・立案支援 3

多文化共生の担い 手育成·連携支援 外国人材の受入れ ・共生のための総合的 対応策に応じた支援

多文化共生を目指した地域づくりを支援 ~全ての人にとって暮らしやすい地域を目指して~

4 NGO/NPO等 との連携促進

力 地域国際化協会 活動支援



(一財)自治体国際化協会多文化共生部 ☎:03 - 5213 - 1725

E-mail: tabunka@clair.or.jp

## 1.情報提供・災害対応支援 情報提供の充実



# クレアの 情報発信

(多文化共生部関係)

## **SNS**

フェイスブックやX(旧Twitter)では、 クレアの取組み、イベント、 多文化共生に関するイベント、 参考情報や優良事例、 また災害時に役立つ情報を 発信、シェアしています。



www.facebook.com/tabunka.clair



www.twitter.com/CLAIR\_tabunka

ぜひ、いいね!やフォローしてください。

# ポータルサイト



多文化共生ポータルサイトは、多文化共生に関する施策立案や情報収集をサポートするポータルサイトです。



特に、災害対応に必要な情報を網羅するページ:

https://www.clair.or.jp/tabunka/portal/disaster/index.php

また、外国人支援に関する各協会の多言語化情報 を収集し、どなたでもご活用いただけるよう、ページに ストックしています。

全国で使える多言語ツールを作成した際は、ぜひ、 クレアに一報いただければ幸いです。



多文化共生に関する国の情報や法令も、取りまとめて掲載しています。

https://www.clair.or.jp/tabunk a/portal/nationalpolicy/index.php

# ツールライブラリー

自治体・地域国際化協会等により作成されたツールをクレアのホームページ上で提供し、多文化共生の推進に役立つ各種ツールが検索できます。

https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tool\_library/index.html



各団体により作成された多文化共生推進 に資するツール(例:外国人住民向け防災 ガイド等)をクレアHP上で分野別にライブラ リー化して自治体等における新たなツール 作成を支援





## 平常時

支援体制の整備

防災訓練・避難所運営準備

## 2. 災害発生時

(災害発生直前→初動対応期→避難生活期→生活再建期)

注意喚起・避難情報の発信

災害多言語支援センター等の設置・運営

避難誘導・災害情報の発信

避難所の巡回

外国人のニーズ把握・対応

多言語での相談対応

3. 災害多言語支援センターの閉鎖

災害時多言語支援のための 手引き及び文例集

在住外国人向け防災行動計画 (マイ・タイムライン)検討ツール





HALAL







災害時多言語表示 シート及び啓発動画



マスクを各種してくだか

マスクを してください

外国語の情報があります

がいこくごの おしらせ Information Available in Foreign languages

ė





災害時外国人支援用 ピクトグラム







災害時の多言語支援 (実践編) 災害時多言語表示シートと災害多言語支援センターの訓練・







多言語指さしボード

## 防災・減災のための多言語支援の手引き2023







## 手引きの全体構成

第1章 (p.1~p.13) 災害時の外国人支援について

第2章 (p.14~p.52) 災害に備えた外国人支援の取組について

第3章 (p.53~p.82) 災害発生時の外国人支援の取組について

## 手引き2018からの改訂ポイント

- ① 災害時外国人支援に関する基礎知識や災害発生後の災害多言語 支援センターの設置運営の流れを把握
- ② 災害時外国人支援従事経験が少ない自治体及び地域国際化協会職員にも分かりやすく編成
- ③ 近年の災害対応事例や最新の多言語情報及びICTツール活用のポイント等を掲載

## **巻末付録** (p.85~p.95)

- 1.多言語情報等共通ツール
- 2.訪日外国人に対する多言語支援に関する参考資料
- 3.災害多言語支援センター設置運営訓練用資料
- 4.応援依頼フォーム
- 5.情報発信フォーム

# 第2章 災害に備えた外国人支援の取り組み p.30~p.33



## 平常時の取り組み

(5)避難所等での外国人受け入れ準備





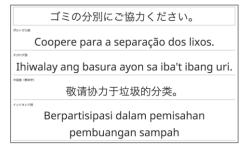
愛知県「多文化防災ガイド」

静岡県「外国人住民のための避難生活ガイドブック」



- 避難所運営者や日本人住民に、避難所等にお ける**外国人受け入れの必要性**を理解してもらう
- ✓ 外国人住民に、避難所での生活ルールやマ ナー等を理解してもらう
- ✓ 多言語支援ツールを活用し、コミュニケーション の円滑化を図る

#### 災害多言語表示シート



#### 多言語指さしボード



#### 多言語避難者登録カード





## ○ 災害時多言語支援啓発動画の公開

「災害時の外国人支援に係る動画」をホームページYouTubeで公開しています。

災害時の外国人支援等をテーマとした訓練や研修会、多文化共生の推進、防災対策などにぜひご活用下さい!

#### ★公開中の動画

●知識編 災害多言語支援センターの役割、 活動事例など、多言語支援に係る 基礎的な知識を学べる内容

●実践編 災害時多言語表示シートの概要・作り方、災害多言語支援センター の設置・運営訓練の概要など実践 的な知識を学べる内容

#### 災害多言語支援センター連絡体制



その他、『災害時多言語表示シートの作り方』(実践編を抜粋したもの)、知識編と実践編を編集した『ダイジェスト版』も公開しています! ※ダイジェスト版はYouTubeでのみの公開



自治体国際化協会HP https://dis.clair.or.jp/ YouTube 「災害時多言語」で動画を検索

- 在住外国人向け防災行動計画 (マイ・タイムライン) 検討ツール
- ▶ 台風等の水害に備えるためのツールの普及促進 を目指す。※やさしい日本語を含む14言語対応
- ▶ 外国人防災リーダーや、その他の在住外国人を 対象とした防災教育に活用可能
- ▶補助学習ツールとしての動画(R4年度作成)

#### 在住外国人向け防災行動計画(マイ・タイムライン)検討ツールのイメージ



#### 講習会補助動画「外国人のための多言語防災ビデオ〜マイ・タイムラインとは〜



本の災害について ②日本の避難所について ③マイ・タイムラインとは ④危ない場所と逃げる情報

https://www.youtube.com/watch?v=bgiwMMd2-04&t=14s



- 災害時外国人支援用ピクトグラム&食材の絵文字(FOOD PICT)(R4年度改訂)
  - ▶ ピクトグラムに日本語・やさしい日本語・英語での表示文を 付記したツールと、食材の絵文字を使用した食べられないも のチェックシート

### 現在使用中のピクトグラムのサンプル

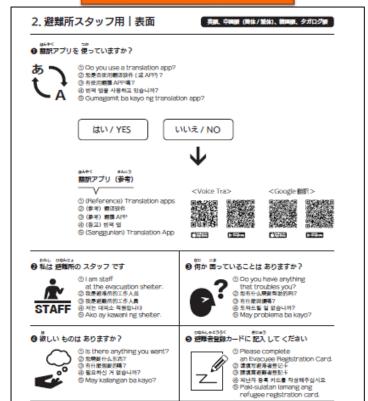
ピクトグラム	表示文
i	外国語の情報があります がいこくごの おしらせ Information Available in Foreign Languages
+	救護所 けがを なおす ところ First Aid
<b>†</b>  †	トイレ Restroom
4	この水は飲めます この みずは のむことが できます Drinkable Water
5==	ここで携帯電話の充電ができます ここで けいたいでんわの じゅうでんが できます Phone Charging Available
•	お祈りできる場所があります ここで おいのりが できます Prayer Spaces Available
	ベビーケアルーム あかちゃんの ぱしょ Baby-care Room
•	授乳室(男女共用) ミルクを あげる ところ(おとこ・おんな) Nursing Room (Male/Female)
*†	男女共用トイレ といれ(おとこ・おんな) All Gender Restroom
更衣室(男性用) ふくを きがえる ところ(おとこ) Dressing Room (Male)	



## ○ 多言語指さしボード

- ▶ 災害時に避難所等に避難してきた外国人と "とりあえず"のコミュニケーションが出来るツール
- ▶ やさしい日本語を含む14言語対応
- ▶避難者登録カードへの記入誘導に対応

#### 多言語指さしボードSAMPLE





- **災害時多言語表示シート**(災害時に避難所や公共交通機関等で掲示する情報掲示シート)
  - ▶ クレアホームページから誰でも簡単操作で活用可能
  - ▶ やさしい日本語を含む13言語対応
    - (※) 英語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語(簡体字・繁体字(別個に選択可能))、韓国・朝鮮語、タガログ語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語、ネパール語
  - ▶ 2019年度に交通情報など訪日旅行者支援関連文例、気象情報文例も追加
  - ▶ 全396文例(避難所内施設表示案内、医療、水道、トイレ、風呂、利用時間表示、電話関係、ゴミ、配給、 ライフライン復旧、交通情報、地震・気象情報、役所からの通知、規則事項、呼びかけ、訓練など)





避難所での災害多言語表示シートの活用例 (防災・減災のための多言語支援の手引き2023)

## 災害時多言語表示シートSAMPLE

メッセージ番号: 0310

(飲料水・食料・毛布) があります。

英語

(Drinking water/ food/ blankets) available.

ベトナム語

Có [(nước uống / thực phẩm / chăn mền)]

中国語(簡体字)

有(饮用水・食物・毛毯)

サンマード

(သဓာက်စရာရ၊ေ အစားအစာ၊ စဓာင်)များရှိသည်

連絡先 〇〇国際交流協会 〇〇こくさいこうりゅうきょうかい 住所 東京都千代田区麹町1-7

電話 03-△△△-☆☆☆ FAX 03-△△△-○○○

#### 【文例】

設 避難所、受付、救護所、ボランティア受付

長題 案内、最新情報、生活の注意 外国語の情報があります 通訳がいます

避難所 無料で利用できます お祈りできるスペースがあります

医療 医師がいます 応急処置ができます

水道 この水は飲めません

トイレ このトイレは使えません

入浴 入浴時間: :~:

電話 ここで携帯電話の充電ができます

ゴミ 燃えるごみ、粗大ごみ、

配給 家族に 個です 食べるものは 時 分に配ります

地域情報 ガスの使える地域 以下の場所で入浴ができます

規則 靴をここで脱いでください 火気厳禁 消灯時刻

交通情報 交通が止まっています 現在、大幅に遅れています

気象 ~から避難勧告が出されました 大雨(土砂災害) 台風 高潮



## ○ 多言語災害情報文例集

- ▶ 東日本大震災以降の災害(水害含む)時に多言語で実際に配信された外国人向け災害支援情報から有用な情報を 抽出し、一般化した文例集
- ▶63文例(地震や災害時の基礎知識、水害に係る情報、補償金・見舞金等、災害時の健康管理、災害時の子育て、ボランティア)

## 災害時多言語情報文例集SAMPLE

No▼	見出し/本文 🔻	英語	中国語(簡体字)	韓国・朝鮮語
1	たくさん揺れています	Continuing aftershocks	会发生很多的震动	많이 흔들리고 있습니다
	大きな地震があったときは、そのあとに、小さな地震が何度も起きます。 しだいに地震は小さく、少なくなっていくので、 安心してください。	A large earthquake is often followed by many aftershocks. However, they gradually become smaller and fewer, so there's no need for concern.	发生大的地震后,会不断发生很多次小的地震。 世震逐渐会变得越来越小,直到没有为止,所以请不用担心。	큰 지진이 발생하게 되면 그 후에 작은 지진이 몇 번이고 발생합니다. 차츰 지진은 규모도 작아지고 빈도도 줄어들기 때문에 안심하시기 바랍니다.
2	水、電気、ガスなどが止まっています	When water, electricity and gas services have been suspended	水, 电, 煤气等处于停止状态	물, 전기, 가스 등이 끊겼습니다
	災害が起きると、水や電気やガスが止まります。 復旧までに、時間がかかるかもしれませんが、関 係者が全力で復旧にあたっています。 避難所には水や食事が届けられるので、避難所 に行きましょう。	When a disaster occurs, water, electricity and gas supplies are often suspended.  It might take a long time to restore them, but the people concerned are doing their utmost to return the utility supplies as quickly as possible.  In this situation, you should go to a shelter where water and meals are provided.	灾害发生时,水,电及煤气会停止。 恢复正常可能会花很长的时间,相关人员会尽 全力进行修复。 水以及食品等救灾物资将会运送到避难所,请 到避难所进行避难。	재해가 발생하면 물과 전기와 가스가 끊깁니다. 복구될 때까지 시간이 걸릴지도 모르지만, 관계 자가 최선을 다해 복구에 임하고 있습니다. 대피소에서는 물과 식사가 제공되오니 대피소 로 갑시다.
3	すぐに帰国するのは難しいです	When it's difficult to return to your country immediately	现在马上就回国是非常困难的	지금 당장 귀국하는 것은 어렵습니다
	帰国したいと思っても、交通がマヒしているので、今すぐ帰国するのは難しいです。 しばらく休んでから、帰国のことを考えましょう。パスポートのことや、在留期間、再入国許可などのことが心配かもしれませんが、大丈夫です。強制退去もありません。待っていてください。	It may be the case that even though you want to return to your country, the traffic network is paralyzed, which makes it difficult to go back to your country immediately. In that situation, you should wait and see if you can arrange your return journey a little later. You may also be worried about your passport, period of stay	考虑回国的事情。您有可能担心有关护照以及在留期间,再入国许可等事情,请您放心,不	귀국하고 싶더라도 교통이 마비된 상황이기 때문에 지금 당장의 귀국은 어렵습니다. 당분간 휴식을 취한 후에 귀국에 대해 생각합시다. 여권이나 체류기간, 재입국허가 등이 걱정일 수도 있지만 걱정하지 않아도 됩니다. 강제 퇴거도 없습니다. 기다려 주십시오.

## 1.情報提供·災害対応支援 災害時の外国人支援 「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修事業」



## 「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修事業」

#### 目 的

多発する災害を踏まえて、引き続き取組を推進していく必要があるところ、

- 災害時には他機関との連携、広域的支援が必要になる場合も多く、<u>平時から関係</u> 者同士の「顔の見える関係づくり(ネットワークの構築・強化)」が重要
- 災害時に外国人支援に従事する自治体や地域国際化協会の職員をはじめ、 平成30年度より総務省が実施している「災害時外国人支援情報コーディネーター 養成研修」の受講者を主な対象として、オンラインや集合型で災害時外国人支援 に係る研修を実施することで、<u>災害時に外国人支援に従事する関係者間の</u> 「顔の見える関係構築」・「関係者のスキルアップ」を支援する。

#### 事業イメージ



関係者間の顔の見える関係構築(連携強化)・関係者のスキルアップを支援

## 事業内容

- 〇 「地域国際化推進アドバイザー(クレア登録)」を活用し、令和6年度は<u>自治体や地域国際化協会等を対象とした災害時の外国人支援に係るオンライン研修</u>
- 会(初心者向け)と、②現地集合型研修を実施する。(参加者の旅費を除く諸費用は全てクレア負担)
- <主な対象者>都道府県、政令指定都市、地域国際化協会、総務省の災害時外

国人支援情報コーディネーター養成研修受講者など

**〈実施日程〉** ①オンライン研修 : 令和6年6月~8月 オンライン開催 3回

②現地集合型研修:令和6年8月~10月 現地開催 1回

#### 期待する効果

- 1 自治体や地域国際化協会等における災害時外国人支援に向けた取組の推進
- 2 地域国際化協会間の「顔の見える関係」の構築(広域支援体制の強化)
- 3 災害時に外国人支援に従事する関係者のスキルアップ

## 2. 多文化共生に係る政策・立案支援



- ◎ 自治体や地域国際化協会が実施する地域の多文化共生の推進に資する先進的な事業等に対して助成
- ◎ 助成した事業のうち特に優良なものにあってはクレアホームページ(※)等を通じて紹介するなど情報発信
  - (※) クレアHP上で「多文化共生事業事例集」として公表(分野別に事業のポイントや工夫点等を掲載)
    - ⇒ <a href="https://www.clair.or.jp/j/multiculture/shiryou/jigyo-genre.html">https://www.clair.or.jp/j/multiculture/shiryou/jigyo-genre.html</a>

事業名 (採択件数)	多文化共生のまちづくり促進事業 (令和6年度:44件採択)		
対象団体	本 都道府県/市区町村/自治体又は地域国際化協会と連携するNPO法人		
対象事業	1. 医療・保健・福祉支援 2. 防災支援 3. 教育支援 4. 労働環境整備 5. 居住・生活支援 6. 外国人住民の自立と社会参画支援 等		
助成額	<ul> <li>・都道府県、指定都市: 上限400万円</li> <li>・市区町村、地域国際化協会等: 上限300万円</li> <li>・複数団体の共同事業: 上限400万円</li> </ul>		
申請時期	令和6年8月~9月申込受付予定(R7年度事業実施分)		

## ~助成事業例~ (公財)静岡県国際交流協会

「医療通訳紹介事業の定着」事業

医療通訳紹介事業の定着に向けて、医療通訳 フォローアップ講座や医療従事者向けセミナーを 開催。病院、大学、行政などの関係機関と連 携し研修を実施することで、県全体で外国人住 民の医療支援に取り組んだ。



#### 可児市

多文化ソーシャルワーク推進事業

「多文化ソーシャルワーク実践講座」を実施し「多文化」と「ソーシャルワーク」双方の視点を持った支援者を養成した。研修により福祉的な視点を含めた取り組みに繋げられたほか、他機関・他職種との連携も深まった。



## 3.多文化共生の担い手育成・連携支援



## 多文化共生の担い手連携促進事業(助成金)

#### 目 的

多文化共生マネージャーなど多文化共生の専門知識を備えた人材をはじめとする多文化共生関係者(担い手)については、その人数に地域差があるほか、 自治体や地域国際化協会等の関係機関での効果的な活用が課題となっている。また、毎年のように大規模な災害が各地で発生する中、広域的な関係機関 同士の連携・協働も課題となっている。こうした状況を踏まえ、地域における持続的かつ効果的な多文化共生の取組を醸成するため、担い手連携の取組や災 害時の外国人支援体制強化の取組など、多文化共生関係者や関係機関同士の広域的な連携・協働に向けた取組を支援する。

#### 事業内容

#### <支援対象団体>

- (1) 各地区(全国6ブロック)(※)の地域国際化協会連絡協議会(ブロック協議会) (※) ①北海道・東北②関東③東海・北陸④近畿⑤中国・四国 ⑥九州・沖縄
- (2) 地域国際化協会(3) 市区町村国際交流協会(協会が存在しない場合は市区町村)
- (4)その他、理事長が必要と認めた団体

#### く対象となる取組>

各地区のブロック協議会または、<u>複数(2以上)の助成対象団体が主体となって行う取組</u>で、 広域的な担い手の連携または災害時の外国人支援体制強化を目指して行う次の取組を対象とする。

- (1) 担い手の広域的な連携を促進することを目的として実施する研修会、ワークショップ、意見交換会等
- (2) 災害時多言語支援センターの設置・運営訓練、災害時における外国人支援対応状況の振り返り会等
- (3) その他、広域的な担い手の連携または災害時の外国人支援体制強化に資すると認められる取組 〈支援内容〉
- (1) 連携・協働に係るアドバイザー・有識者の派遣
- (2) 広域的な連携・協働に向けた取組に対する助成(上限額:10万円)

#### 活用事例

## 災害多言語支援センター設置・運営訓練、外国人県民のための防災講座実施事業

(長野県国際交流協会、中野市)

外国人支援の円滑な実施、支援機関との連携構築を目的とし、オンライン活用を含めた訓練を実施。また、外国人の防災知識習得と災害多言語支援センターの避難所巡回の模擬訓練を通じた被災者側としての訓練、防災講座を実施。



# 地域国際化推進アドバイザー制度について



#### 目 的

多文化共生、国際交流・協力に係る専門知識・経験を有する方を、クレアが『地域 国際化推進アドバイザー』として委嘱したうえで、希望する自治体等に派遣し、必要 な情報、適切な助言・ノウハウの提供などを行うことにより、施策の推進、住民理解 の促進等に寄与する。

#### 制度概要

【派遣対象団体】自治体・地域国際化協会・市区町村国際交流協会 【アドバイザー・アドバイザーの業務】

以下に関する業務に係る知識・実務経験を有する者(※1)で、当該知識やノウハウの提供、助言等を行う(※2)

- ① 多文化共生推進のための施策構築・実施 ② 国際協力・国際交流・ 国際理解教育 ③ 自治体等とNGO/NPO等との連携・協働
- (※1)「地域国際化推進アドバイザー一覧」(分野別)をクレアHPで公開 (大学教授、地域国際化協会・NPO等の実務者など。登録者数計71人) アドバイザーの委嘱期間は2年間
- (※2) 研修や講演会といった形式は問わない

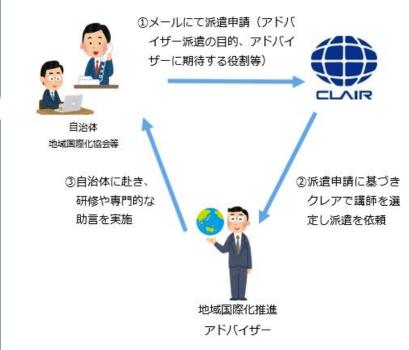
【経費負担】 アドバイザーの謝礼金・交通費をクレアが負担

【**制度の運用**】 上限 4 時間

災害関係・やさしい日本語:いずれかを年に1回

その他テーマ:年に1回(ただし、現地派遣は2年に1回)

※オンライン派遣可能





## 【参考】災害時の外国人支援に係る地域国際化協会間の広域的な相互支援の枠組みにつ いて 〜地域国際化協会間の災害時広域支援に関する協定〜



ブロック

ブロック

災害が発生した際、<u>まず地域ブロック内で支援し合う</u>こととする<u>「地域ブロック内の協定」がブロック構成協会間で締結</u>され ているほか、地域ブロック内だけでは十分に対応できない場合に、他の地域ブロックが支援する「全国6ブロック間の全体協 定」が全国6ブロック間で締結されている。

#### 全国 6ブロック間全体協定 地域国際化協会連絡協議会 (事務局: クレア) 【目的】 ・広域災害を想定した、連絡協議会ブロッ ク間相互の連携 北海道: (被災ブロックを支援するブロックの順位決 九州 東北 め、費用負担等に関する取り決め) ブロック 中国• ブロック 関東 東海· 四国 近畿 ブロック 北陸 ブロック ブロック ブロック 各 各 地域ブロック内協定 協 協 各 各 各 各 【目的】 協 協 協 ・地域ブロック内での地域国際化協会間相 会 会 万の連携 (事務局担当協会、支援内容、費用負 担等に関する取り決め) 各 各 各 各 各 自 自 自 自 自 自 治 治 各協会、自治体間での個別協定 治 治 治 治 体 【目的】 北海道: 東海・ 中国• ・地域国際化協会と自治体相互の連携 関東 近畿 九州 東北 北陸 四国

ブロック

16

ブロック

ブロック

ブロック

(災害多言語支援センターの設置主体、 費用負担等に関する取り決め)